

科目名	造形表現Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1単位	1年	後期			
担当者名	原井 輝明	関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 選択				
授業概要 造形表現Ⅰで習得してきたことを踏まえてその幅を広げ、深めていく。 自然や身近にある物を利用して造形表現に必要と思われる体験を蓄積し、創造する喜びを会得する。 その学び得たことを伝えていく技量や手段を身につけていく。							
到達目標 材料の性質、道具・画材の扱い方を学びながら技法を身につけ、作品作成の喜びを感じ取る。 クロッキーを通して人物や動物の動作を絵で表現する。			成績評価方法 レポート、演習の振り返りシート、定期試験による総合評価。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○			○			40
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		15
プレゼンテーション							
グループワーク			○	○			10
演習	○	○	○	○	○	○	25
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 陶芸作品の出来るまで				小レポート			
2) 粘土の種類と土練り 荒練り、菊練り				グループワーク			
3) 用具の説明および作陶（成形） たたら作り				個人ワーク			
4) 作陶（成形） ひも作り				個人ワーク			
5) 作陶（成形） くり抜き				個人ワーク			

6) 作陶（素焼き）	グループワーク
クロッキー	
7) 作陶（釉薬掛け）	グループワーク
クロッキー	
8) 作陶（本焼き）	グループワーク
陶芸まとめレポート提出	レポート
9) 版画の種類と作成	個人ワーク
10) ドライポイント技法と紙版画の制作	個人ワーク
11) 制作	個人ワーク
12) 制作	個人ワーク
13) プレス印刷	グループワーク
クロッキー	
14) スチレン版画技法と制作	個人ワーク
摺り	
15) 制作・摺り・サインの入れ方	レポート
版画作品提出	
授業外学習	
授業外学習	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「新造形表現＜実技編＞」花篤實他著（三晃書房） 「子どもとつくる」檜山永治著（大月書店） 「萩＜日本のやきもの＞」石崎泰之著（淡交社） その他：配布プリント	造形表現Ⅰ 造形表現Ⅲ 造形表現Ⅳ
備考	
汚れても構わない服装で授業に臨むこと。	